

としょかん
図書館だより

書友



ねん がつ にち かみもりちゅうがっこうとしょかん
2024年12月11日 神森中学校図書館

12月の読書目標・・・人権に関する本を読もう

12月になり、日に日に寒くなってきましたね。図書館は換気のため少し窓を開けてヒンヤリしていますが、生徒たちは元気いっぱい！笑顔で本をかりる皆さんの姿を見ていると、心がポカポカ温かい気持ちになります。

今年も残りわずかですが、たくさん図書館を利用してくださいね。

どくしょじゅんかん ほうこく 読書旬間の報告

11月19日（火）～29日（金）は校内読書旬間が行われました。

「読書deビンゴ」では普段読まないような分類の本にチャレンジし、図書館ではビンゴカードとにらめっこしながら本を探す姿が至る所で見られました。また、「読書標語」は自由応募でしたが55作品が集まり、それぞれにひらめきや工夫が感じられました。

図書委員も読書旬間の呼びかけやポスター作成、オススの本の紹介など読書旬間を盛り上げてくれました。

読書旬間を通して、主体的に行動できる生徒が多くいる神森中の素晴らしさを改めて感じました。

外は雪
本の世界は夏の空
(ベンネーム) 一年 ショートケーキ

探そうよ
君にピッタリの一冊を
(ベンネーム) 一年 川下太郎

みつけよう
心のにこる一冊を
(ベンネーム) 二年 ぶりん

読んだもん
一回読んだら俺のもの
(ベンネーム) 二年 天

読書標語
優秀作品
ゆうしゅうさくひん

とうひょう
投票で
えら
選ばれ
ました。



人権に関する本を読もう



『ママたちが言った』 アリヤ・D. ウィリアムズ / 文 クレヨンハウス
 フードをかぶらないこと、ポケットに手をつっこまな
 いこと…。アフリカ系米国人の子どもは大きくなるにつ
 れて、そう大人たちから教わります。それは、差別や偏
 見による暴力から身を守るために必要なことでした。



新着図書案内



『古池に飛びこんだのはなにガエル?』 稲垣栄洋 / 著 辰巳出版
 短歌や俳句に登場する生き物達
 それらを自然科学の目線から切り
 込みます。その時の情景が蘇り、
 俳句等をより深く理解できます。



『本当に危ない闇バイトの話』 廣末登 / 監修 金の星社
 社会問題になっている「闇バイト」
 実例を基に、巧妙な手口や関わっ
 てしまった時の事件後の様子など
 を分かりやすく解説します。

『ネットでいじめられたら、どうすればいいの?』 春名風花 / 著 河出書房新社

『はじめまして相対性理論』 シェルト・カイト=サラフ・フェロン / 著 化学同人

『消された1行がわかるといきなり怖くなる話』 藤白圭 / 著 ワニブックス

『おとなも子どもも知りたい生成AIの教室』 鈴木秀樹 / 監修 カゼン

『いっしょに翻訳してみない?』 越前敏弥 / 著 河出書房新社

『沖縄から考える戦争と平和』 全3巻 池上彰 / 監修 小峰書店

『ホグワーツのクリスマス』 J.K. ローリング / 作 静山社

『ミヒヤエル・エンデ (コミック版世界の伝記)』 ポプラ社

『色とりどりの「はな言葉」』 葉菜桜花子 / 著 扶桑社

『二人目の私が夜歩く』 辻堂ゆめ / 著 中央公論新社

『君色パレット第二期』 令丈ヒロ子 / 他著 岩崎書店

『あした、弁当を作る。』 ひこ・田中 / 著 講談社

『わたしの幸せな結婚8』 顎木あくみ / 著 KADOKAWA

『恋愛問題は止まらない』 吉野方里子 / 作 小学館

『君を守ろうとする猫の話』 夏川草介 / 著 小学館

『クスノキの女神』 東野圭吾 / 著 実業之日本社

『てのひらに未来』 工藤純子 / 作 くもん出版

『最高の髪形解剖図鑑』 篠原龍 / 著 エクスレッジ

『6days遭難者たち』 安田夏菜 / 著 講談社

『王様のキャリア』 まひる / 著 講談社

『小説きみの色』 佐野晶 / 著 宝島社



まいしゅうだい にちようび
 毎週第3日曜日は
 ファミリー読書の日です。
 こんげつ
 今月は12/15です

